

日本初

掘削技術専門学校 22年白糠町に開設



いのが地熱発電です。二酸化炭素の削減にもつながります。熊本県小国町でも発電の準備に入っていますが、その中で問題視し、悩んだことは最初の試し掘りです。実際に『どれだけのポテンシャルがあるのか』という試し掘りをするのですが、まず掘削をしてくれる業者がいまいません。それで棚野町長に相談をさせていただきました。

日本初の掘削技術専門学校

沼田…棚野町長から『白糠に学校を作ってはどうか』というお話をいただきました。

安全面を徹底し、実際に掘削ができる学校は、過去も含めて日本にはありません。大きな機械を使いますから、ロータリーの場合は特に危険です。ですから、大きな土地で試掘する必要があります。また、熱量があるところで掘らなければなりません。白糠町にはこうした条件が整っていますし、これまでの白糠町との信頼関係もありますので、白糠町に学校法人ジオパワー学園を設立するという流れです。

地

熱発電の掘削技術者を養成する「掘削技術専門学校」を町内に開設する「株式会社町おこしエネルギー」の沼田昭二社長



棚野町長と町おこしエネルギーの沼田昭二社長

と同事業開発部の岡本道明部長、棚野町長が2月18日、役場で学校設置の経過や概要などを発表しました。

2月13日、北海道私立学校審議会専門学校の設置計画が承認されたことを受けて、記者発表したものです。

学校設置に至る経過

沼田昭二社長（以下…沼田）以前、白糠町にバイオマス発電所（釧布工業団地にある株式会社神戸物産のバイオマス発電所のこと）を建設するなど、白糠町にはずっとお世話になっていきます。現在、神戸物産（沼田博和社長）は、息子に継いでもらいましたが、神戸物産

でバイオマス発電所を建設したときと同じように、私には地域活性化のために、何か使命感のあることを成し遂げたいという思いがありました。また、現在の日本におけるエネルギー問題に危機感があります。それで名前のとおり「町おこし」と「エネルギー」。再生可能エネルギーを活用した事業で地域の活性化に取り組む「町おこしエネルギー」を立ち上げました。

再生可能エネルギーの中で、太陽光発電とバイオマス発電は、神戸物産でやっていますので、それは今後も続けて行きます。ですので、地熱発電と風力発電になりますが、地熱発電に特に注目しています。再生可能エネルギーの中でも二酸化炭素の排出量が一番少な